

2 次の正方行列の対角化

樋口さぶろお <https://hig3.net>

龍谷大学工学部数理情報学科

線形代数 L05(2019-05-07)

最終更新: Time-stamp: "2019-05-28 Tue 11:26 JST hig"

今日の目標

- 高橋線形 §3.3 2 次正方行列を対角化できる.
- 高橋線形 §3.3 2 次正方行列のべき乗を計算できる.



L04-Q1 高橋線形 §3.2 参照

L04-Q2

Quiz 解答:対称移動の固有値固有ベクトル 固有値 $+1$ の固有ベクトル $c \begin{bmatrix} 1 \\ 0 \end{bmatrix} (c \in \mathbb{R}, c \neq 0)$,固有値 -1 の固有ベクトル $c \begin{bmatrix} 0 \\ 1 \end{bmatrix} (c \in \mathbb{R}, c \neq 0)$.

L04-Q3

Quiz 解答:行列の固有値固有ベクトル $\lambda_1 = -2$ の固有ベクトル $\boldsymbol{x}_1 = \begin{bmatrix} 1 \\ 4 \end{bmatrix}$, $\lambda_2 = 1$ の固有ベクトル $\boldsymbol{x}_2 = \begin{bmatrix} 1 \\ 1 \end{bmatrix}$.

L04-Q4

Quiz 解答:固有値チェック

- ① 固有多項式 $\lambda^2 - \lambda - 15$ に代入すると zero でない.
- ② 固有多項式 $\lambda^2 - 6\lambda + 8$ に代入すると zero.

L04-Q5

Quiz 解答:固有ベクトルチェック

①

$$\begin{bmatrix} 3 & 2 \\ 1 & 3 \end{bmatrix} \begin{bmatrix} \sqrt{2} \\ 1 \end{bmatrix} = (3 + \sqrt{2}) \begin{bmatrix} \sqrt{2} \\ 1 \end{bmatrix}$$

なので固有ベクトルである. 固有値 $3 + \sqrt{2}$.

② 固有ベクトルでない.

L04-Q6

Quiz 解答:連立漸化式 固有値固有ベクトルを求めると…(略)

初項を固有ベクトルの線形結合で書くと,

$$\begin{bmatrix} x_0 \\ y_0 \end{bmatrix} = a\mathbf{x}_1 + b\mathbf{x}_2 = -1 \begin{bmatrix} 1 \\ 4 \end{bmatrix} + 2 \begin{bmatrix} 1 \\ 1 \end{bmatrix}.$$

よって,

$$\begin{bmatrix} x_n \\ y_n \end{bmatrix} = A^n \begin{bmatrix} x_0 \\ y_0 \end{bmatrix} = a \cdot \lambda_1^n \mathbf{x}_1 + b \cdot \lambda_2^n \mathbf{x}_2 = (-1)(-2)^n \begin{bmatrix} 1 \\ 4 \end{bmatrix} + 2 \cdot 1^n \begin{bmatrix} 1 \\ 1 \end{bmatrix} = \begin{bmatrix} -(-2)^{n+2} \\ -4(-2)^{n+2} \end{bmatrix}$$

ここまで来たよ

4 略解: 2 次の正方行列の固有値・固有ベクトル

5 2 次の正方行列の対角化

- 行列の対角化
- 行列のべき乗

与えられた行列と対角行列の関係は? 高橋線形 §3.3(p.49)高橋線形定理 3.6(p.56)

2 次正方行列の固有値を λ_1, λ_2 (ただし $\lambda_1 \neq \lambda_2$), 対応する固有ベクトルを $\mathbf{x}_1, \mathbf{x}_2$ としたとき, 正則行列 $P = [\mathbf{x}_1 \ \mathbf{x}_2]$, 対角行列 $\Lambda = \begin{bmatrix} \lambda_1 & 0 \\ 0 & \lambda_2 \end{bmatrix}$ により,

$$P^{-1}AP = \Lambda$$

と書ける. Λ と基底変換行列 P を求めてこの等式を書くことを行列 A の対角化 diagonalization という.

同じ A, P, Λ に対して, $A = P\Lambda P^{-1}$ とも書ける.

-
- ① \mathbf{x}_1 を (2 個所で一斉に) 定数倍しても成立.
 - ② 1,2 番目の固有値/ベクトルを (3 個所で一斉に) 入れ替えても成立.

対角化の気分

$A = Q\Lambda$ となる Q はすぐ見つかる. 両側に P, P^{-1} となるところがいい.
そのうち, 「 P で基底を取り替えると」みたいな見方を学びます

L05-Q1

Quiz(行列の対角化)

行列 $A = \begin{bmatrix} 2 & -1 \\ 4 & -3 \end{bmatrix}$ を対角化しよう.

先週の問題

高橋線形問題 3.16

高橋線形演習問題 3.4

$P = [\mathbf{x}_1 \quad \mathbf{x}_2]$ で対角化できることの証明

固有値固有ベクトルの定義は,

$$A\mathbf{x}_1 = \lambda_1\mathbf{x}_1, A\mathbf{x}_2 = \lambda_2\mathbf{x}_2$$

並べて書くと,

$$A[\mathbf{x}_1 \quad \mathbf{x}_2] = [\lambda_1\mathbf{x}_1 \quad \lambda_2\mathbf{x}_2] = [\mathbf{x}_1 \quad \mathbf{x}_2] \begin{bmatrix} \lambda_1 & 0 \\ 0 & \lambda_2 \end{bmatrix}$$

両辺に左から $P^{-1} = [\mathbf{x}_1 \quad \mathbf{x}_2]^{-1}$ をかけて,

$$P^{-1}AP = \begin{bmatrix} \lambda_1 & 0 \\ 0 & \lambda_2 \end{bmatrix}$$

L05-Q2

Quiz(行列の対角化)

行列 $A = \begin{bmatrix} 1 & 5 \\ 4 & 2 \end{bmatrix}$ の固有ベクトルは $\begin{bmatrix} 1 \\ 1 \end{bmatrix}$, $\begin{bmatrix} 5 \\ -4 \end{bmatrix}$ である.

$$A = P^{-1}\Lambda P$$

を満たす対角行列 Λ と, 行列 P をひとつ求めよう.

(おぼえ方) どっち側からかけるのが $P = [\mathbf{x}_1 \quad \mathbf{x}_2]$ だっけ?

パターン 1 $P^{-1}AP = \Lambda$

右から $\begin{bmatrix} 1 \\ 0 \end{bmatrix}$ かけると, 両辺ともベクトルのスカラー倍イベント発生.
式

$$PAP^{-1} \neq \Lambda$$

では, 右辺だけで起きちゃう.

パターン 2 $A = P\Lambda P^{-1}$

右から $[\mathbf{x}_1 \mathbf{x}_2]$ かけると, 両辺ともベクトルのスカラー倍イベント発生.
式

$$A \neq P^{-1}\Lambda P$$

では, 左辺だけで起きちゃう.

ここまで来たよ

4 略解: 2 次の正方行列の固有値・固有ベクトル

5 2 次の正方行列の対角化

- 行列の対角化
- 行列のべき乗

対角化の使い道 1

行列のべき乗

$$A^n = P \begin{bmatrix} \lambda_1^n & 0 \\ 0 & \lambda_2^n \end{bmatrix} P^{-1}.$$

なぜなら

$$\begin{aligned} A^n &= (P \Lambda P^{-1})^n \\ &= (P \Lambda P^{-1})(P \Lambda P^{-1}) \cdots (P \Lambda P^{-1}) \\ &= P \Lambda^n P^{-1} \end{aligned}$$

L05-Q3

Quiz(行列のべき乗)

行列 $A = \begin{bmatrix} 2 & -1 \\ 4 & -3 \end{bmatrix}$ に対して, A^n を求めよう ($n = 0, 1, 2, \dots$).

高橋線形問題 3.16

行列の負のべき

定義 $A^{-n} = (A^{-1})^n$.

高橋線形 p.30

性質 $A^{-n} = (A^n)^{-1}$.

L05-Q4

Quiz(行列の負のべき乗)

行列 $A = \begin{bmatrix} 2 & -1 \\ 4 & -3 \end{bmatrix}$ に対して, A^{-n} を求めよう ($n = 0, 1, 2, \dots$).

行列の積の逆行列

高橋線形なし

A, B が正則なとき, AB も正則で,

$$(AB)^{-1} = B^{-1}A^{-1} \stackrel{\text{一般には}}{\neq} A^{-1}B^{-1}$$

対角化の使い道 2 I

漸化式の一般項の別の計算方法 高橋線形 p.57

$\boldsymbol{x}_{n+1} = A\boldsymbol{x}_n$ のとき,

$$\boldsymbol{x}_n = A^n \boldsymbol{x}_0 = P \begin{bmatrix} \lambda_1^n & 0 \\ 0 & \lambda_2^n \end{bmatrix} P^{-1} \boldsymbol{x}_0.$$

L05-Q5

対角化の使い道 2 II

Quiz(行列のべき乗による漸化式の解)

初項が $x_0 = 1, y_0 = -2$ のとき, 次の連立漸化式の一般項 $\{x_n\}, \{y_n\}$ ($n = 0, 1, 2, \dots$) を求めよう

$$x_{n+1} = 2x_n - y_n,$$

$$y_{n+1} = 4x_n - 3y_n.$$

高橋線形問題 3.15

行列の話なしで高校生を驚かす方法

$$\boldsymbol{x}_{n+1} = A\boldsymbol{x}_n$$

$$\boldsymbol{x}_{n+1} = P\Lambda P^{-1}\boldsymbol{x}_n$$

$$P^{-1}\boldsymbol{x}_{n+1} = \Lambda P^{-1}\boldsymbol{x}_n$$

そこで $\boldsymbol{a}_n = \begin{bmatrix} a_n \\ b_n \end{bmatrix} = P^{-1}\boldsymbol{x}_n = P^{-1} \begin{bmatrix} x_n \\ y_n \end{bmatrix}$ とおく.

$$\boldsymbol{a}_{n+1} = \begin{bmatrix} \lambda_1 & 0 \\ 0 & \lambda_2 \end{bmatrix} \boldsymbol{a}_n$$

つまり,

$$a_{n+1} = \lambda_1 a_n$$

$$b_{n+1} = \lambda_2 b_n$$

「 a, b に分離された」 「漸化式が対角化された」

先週の例

L05-Q6

Quiz(行列のべき乗による漸化式の解)

初項が $x_0 = 1, y_0 = -2$ のとき, 次の連立漸化式の一般項 $\{x_n\}, \{y_n\}$ ($n = 0, 1, 2, \dots$) を, 等比数列になる a_n, b_n を発見して求めよう.

$$x_{n+1} = 2x_n - y_n,$$

$$y_{n+1} = 4x_n - 3y_n.$$

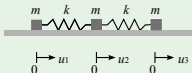
行列 $A = \begin{bmatrix} 2 & -1 \\ 4 & -3 \end{bmatrix}$ に対して, A^n を求めよう ($n = 0, 1, 2, \dots$).

力学 (連成振動) への応用

高橋線形演習問題 3.7.3.8 L05-Q7

Quiz(3点の連成振動)

図のように2つのばね(ばね定数 k) で結ばれた質量 m の3質点が、一直線上で運動している。時刻 t における位置 $x_1(t), x_2(t), x_3(t)$ は、それぞれの質点のつりあいの位置(ばねがともに自然長になる位置)から測ったものである。



- ① x_1, x_2, x_3 について運動方程式をたてよう。
- ② 固有振動数を求めよう。
- ③ 固有モード(固有ベクトル)を求めよう。

Quiz 解答:3点の連成振動

①

$$\begin{aligned} m x_1'' &= +k(x_2 - x_1) \\ m x_2'' &= -k(x_2 - x_1) + k(x_3 - x_2) \\ m x_3'' &= -k(x_3 - x_2) \end{aligned}$$

- ② 行列 $\frac{k}{m} \begin{pmatrix} 1 & -1 & 0 \\ -1 & 2 & -1 \\ 0 & -1 & 1 \end{pmatrix}$ の固有値の平方根を求めて、 $\omega = 0, \sqrt{\frac{k}{m}}, \sqrt{\frac{3k}{m}}$ 。
- ③ 書く固有値に対応する固有ベクトルは $\begin{pmatrix} 1 \\ 1 \\ 1 \end{pmatrix}, \begin{pmatrix} 1 \\ 0 \\ -1 \end{pmatrix}, \begin{pmatrix} -1 \\ 2 \\ 1 \end{pmatrix}$ だから、 $v_0, x_0, C_2, C_3, \phi_2, \phi_3$ を定数として、

$$\begin{pmatrix} 1 \\ 1 \\ 1 \end{pmatrix} (v_0 t + x_0), \begin{pmatrix} 1 \\ 0 \\ -1 \end{pmatrix} C_2 \cos\left(\sqrt{\frac{k}{m}} t + \phi_2\right), \begin{pmatrix} -1 \\ 2 \\ 1 \end{pmatrix} C_3 \cos\left(\sqrt{\frac{3k}{m}} t + \phi_3\right).$$

連絡

線形代数 LINE@



サポート

<https://line.me/R/ti/p/@arl7841z>

Learn Math Moodle

<https://learn.math.ryukoku.ac.jp/>

- 樋口オフィスアワー火 5(1-507, 1-542)
- 学科チューター (個人・グループで勉強+上級生の相談) 水昼, 1-342
- 初年次学習支援センター 火水 12:45-15:45, 生協コンビニ地下

- 2019-05-13 月 15:20 までに, 1-507 前の箱にレポート提出 問題は <https://learn.math.ryukoku.ac.jp/> から PC で印刷
- 2019-05-23 金 19:00 までに, 1-507 前の箱にレポート提出 問題は <https://learn.math.ryukoku.ac.jp/> から PC で印刷

- 次回はたぶん定常の教室 7-002.
 - ① またチーム別エリア座席指定する予定.
 - ② Trial 予告
 - ③ 来週は教科書 高橋線形 3.5 高橋線形 3.6 読んできて.
- 2019-05-21 火全学休講
- 2019-05-28 火テスト 1
 - ▶ テスト 1 とテスト 2(7 月) の最低点が科目の成績 100 ピーナッツ中 70 ピーナッツ.
 - ▶ 計算機実習室 1-542. Web 解答+一部の解答手書き解答の予定.
 - ▶ 説明や準備を除いた答案作成部分 45 分
 - ▶ お奨めの準備方法. 1) これまでの Trial を最短距離でできるようにしておく (Web の問題・解答も再度確認できます). 2) 予習復習問題を最短距離でできるようにしておく. 3) 配布資料で言及されている教科書の問題を解く.
 - ▶ 出題計画
 - ★ 行列・ベクトルの積の計算. 定義されないときの判定 (Trial L03)
 - ★ 回転行列, 線形変換の逆や合成 (Trial L04)
 - ★ 2 次正方行列の固有値固有ベクトルの計算 (Trial L05)
 - ★ 2 次正方行列の対角化 (Trial L05, Report L05)